

# 経営方針

---

2018年5月11日

太陽誘電株式会社  
代表取締役社長  
登坂 正一

## ～ TAIYO YUDEN VISION ～

お客様から信頼され、感動を与えるエクセレントカンパニーへ

スマート商品

高品質

低消費電力

ダウン  
サイジング

有害物質の  
使用全廃

スマート  
プロダクト

安全第一

ルール遵守

エネルギー  
使用高効率

歩留まり  
100%

リユース  
リサイクル

排出量の  
最小化

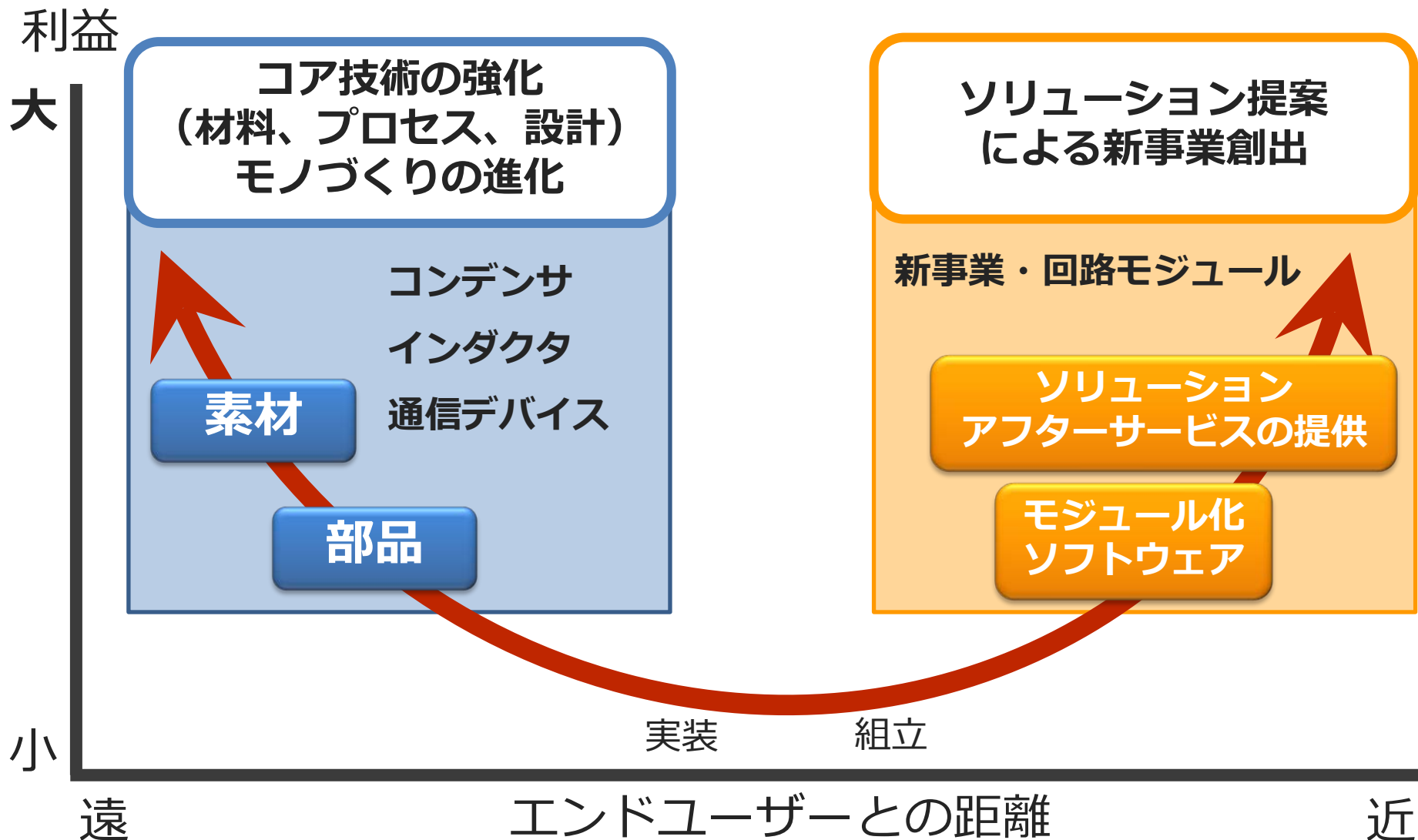
スマート  
プロセス

OHSAS18001, ISO9001, IATF16949, (TS16949), ISO14001

システム

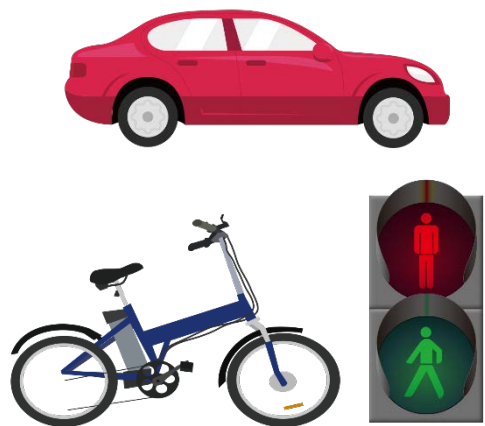
# 高収益体質に向けたビジネスモデルの変革

## 3つの『モノ』と1つの『コト』



# これからの世界 ～IoTの普及～

## 自動車など



## スマホ・ウェアラブル



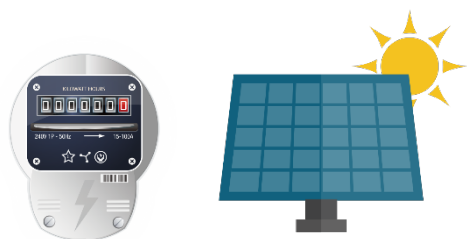
AI  
(人工知能)

ビッグデータ

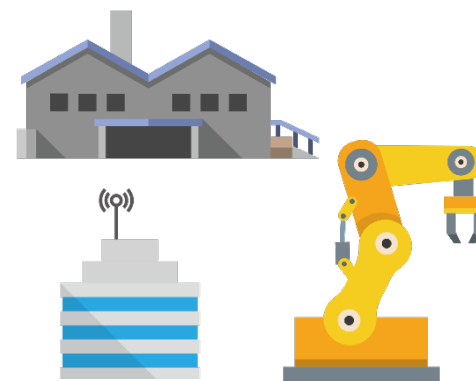
データセンター



## エネルギー



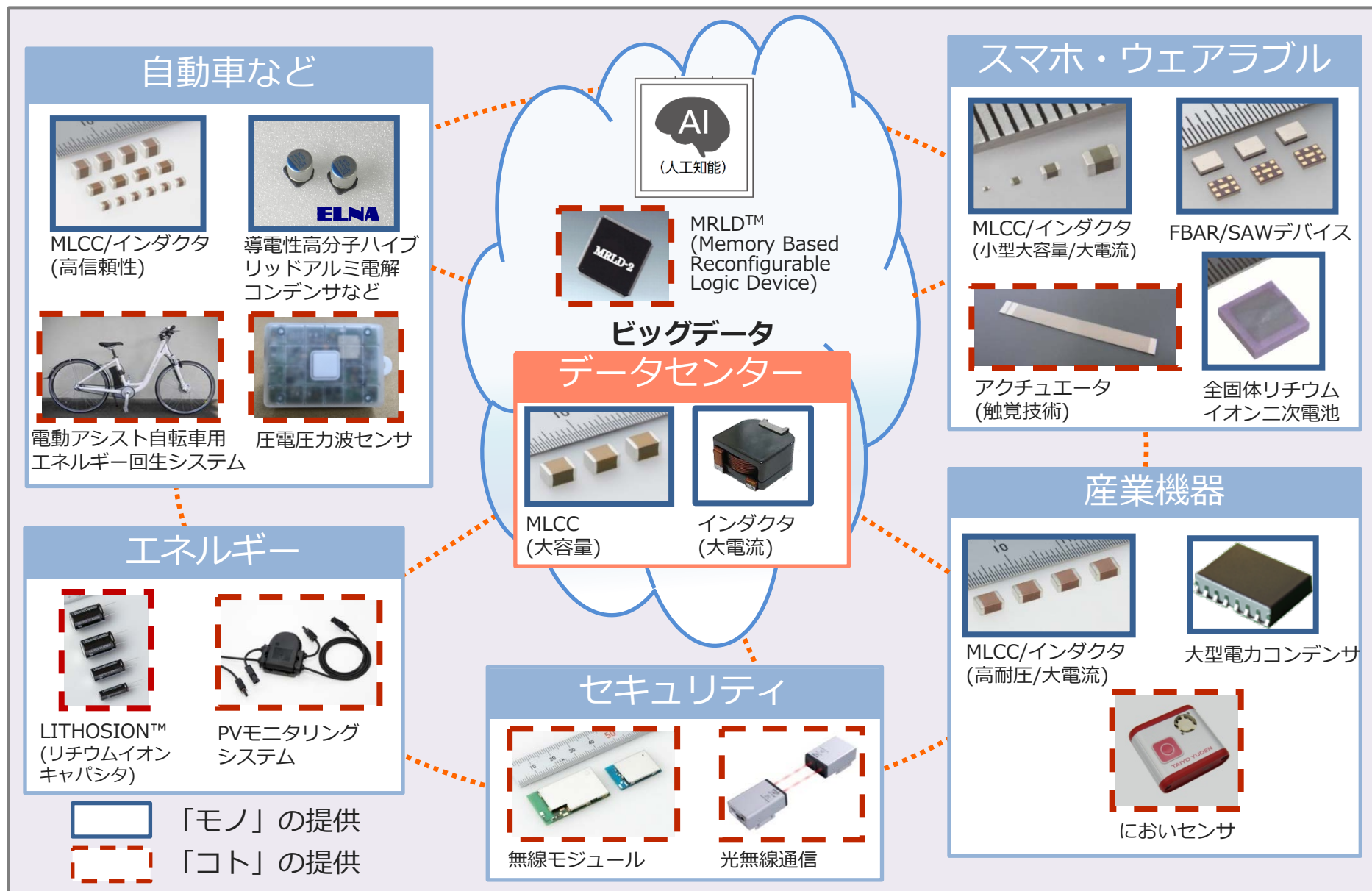
## 産業機器



セキュリティ



# IoTの普及による当社電子部品の需要拡大



# 中期経営計画

売上高

3,000億円

営業利益率

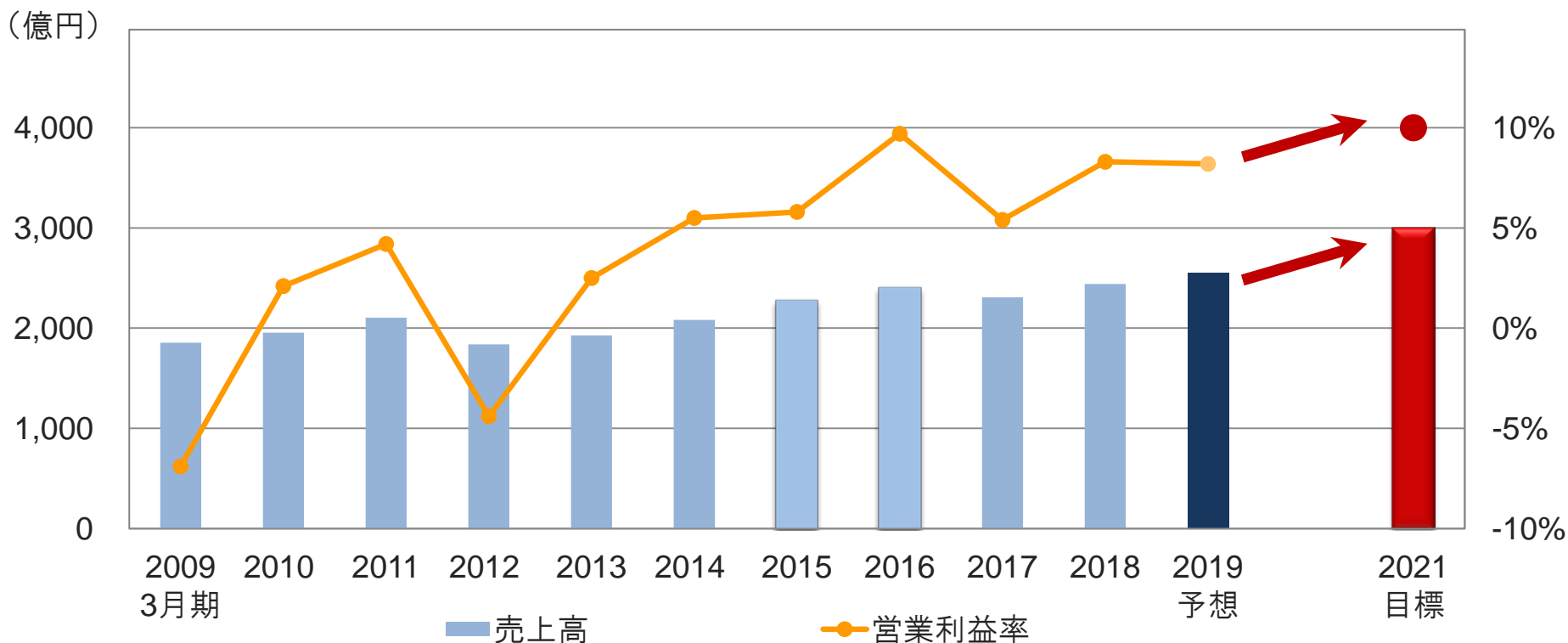
10%以上

ROE

10%以上

## 2021年3月期

までの達成を目指す



## 1. 注力すべき市場\*の拡大 売上構成比 **38%** (黄金比) へ

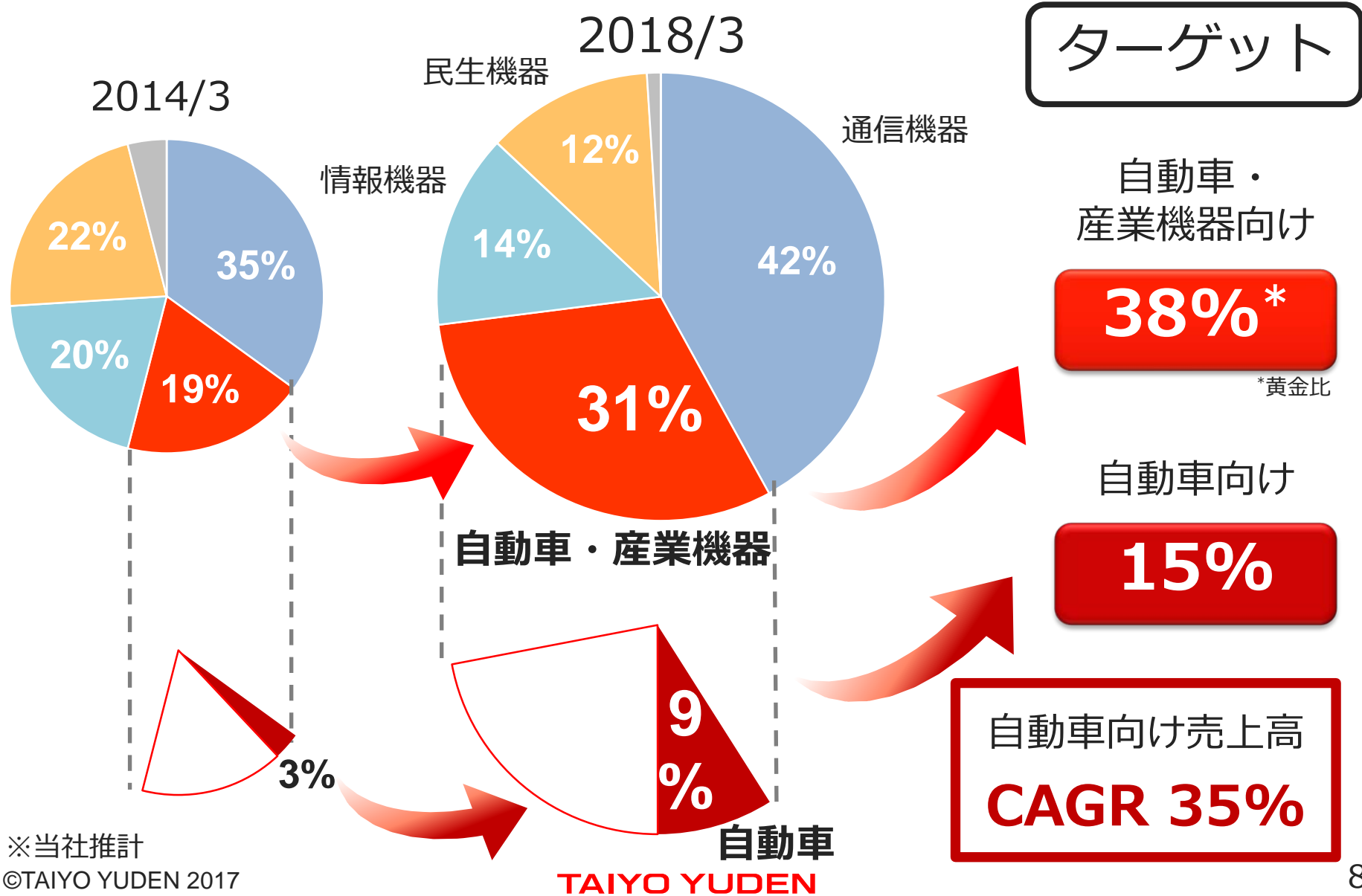
\*自動車、産業機器、エネルギー、医療・ヘルスケア

## 2. モノづくりの進化 「smart. E」プロジェクト

## 3. 積極的な設備投資にシフト コンデンサ中心に投資加速

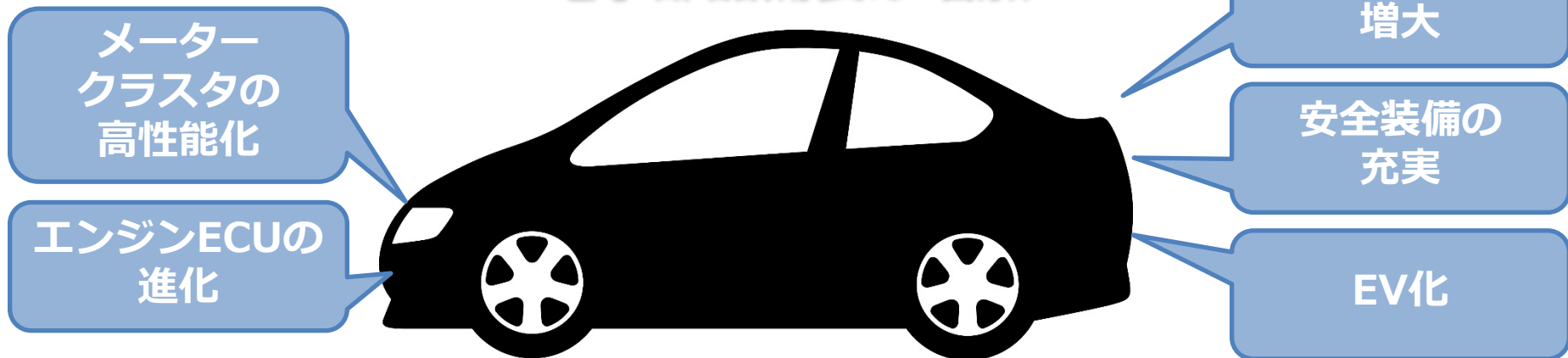
# 1. 注力すべき市場

## 用途分野別売上構成



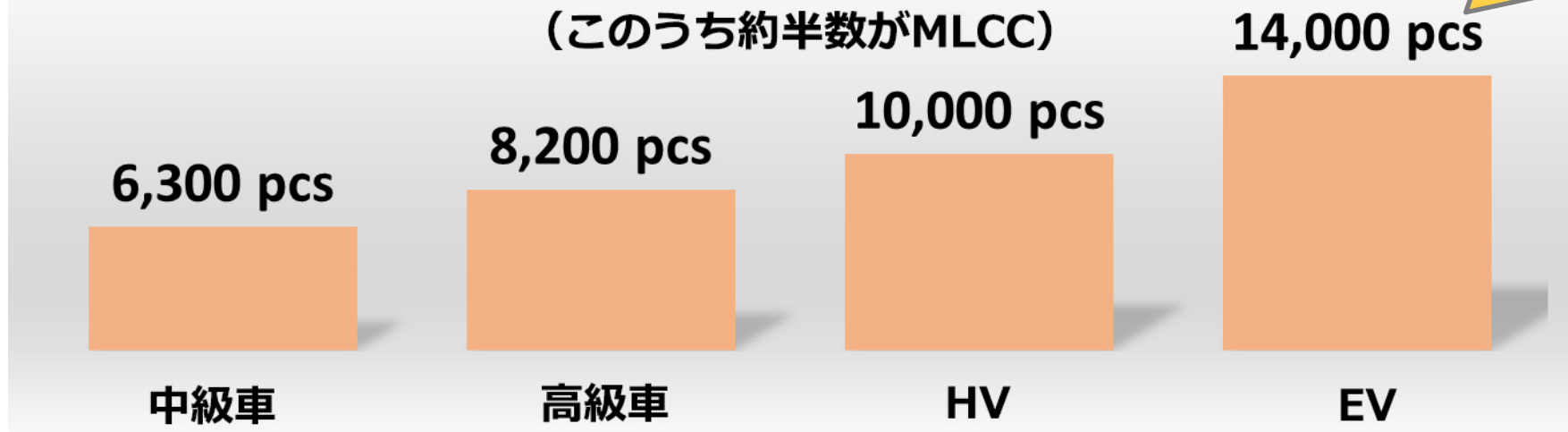
# 1. 注力すべき市場 ～自動車市場～

大型・高耐圧・高信頼の  
電子部品需要が増加



自動運転により  
さらに増加

1台あたり電子部品搭載個数  
(このうち約半数がMLCC)



# 1. 注力すべき市場 ～自動車への取り組み～

## 2018年4月 エルナー株式会社を子会社化

- ① EDLC、リチウムイオンキャパシタの共同開発・生産、資材調達協力
- ② コンデンサ事業における技術・生産ノウハウの共有
- ③ 相互協力による販売拡大

**自動車向け商品**  
➡ **ラインアップ拡充、  
ポジション強化を加速**

### エルナー株式会社の概要

#### ■ 連結業績概要

(2017年12月期 コンデンサ事業)

|       |           |
|-------|-----------|
| 売上高   | 13,077百万円 |
| 営業利益  | 1,221百万円  |
| 営業利益率 | 9.3%      |

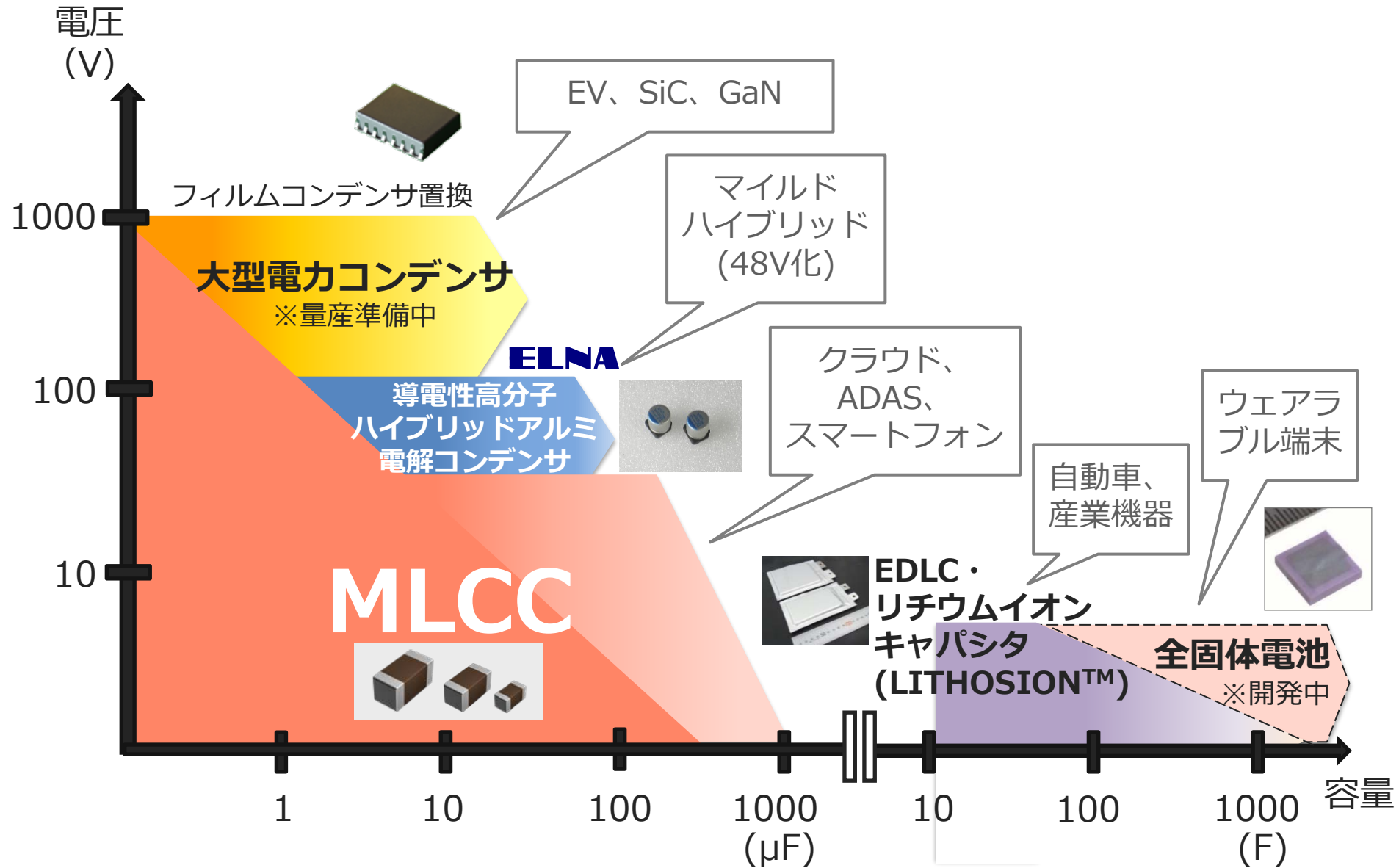
#### ■ 生産品目

- ・ 導電性高分子ハイブリッドアルミ電解コンデンサ
- ・ アルミ電解コンデンサ
- ・ 電気二重層コンデンサ

**ELNA**



# コンデンサ事業の方向性とエルナー社の位置付け



# 2.モノづくりの進化「smart.Eプロジェクト」

～GからEへ～

IoTとビッグデータを駆使して  
ムダ・ムラ・ムリをなくし、  
モノづくりを大きく進化させる



ケタを変える

ロケーションフリー

FY2018～  
STAGE3

異常の未然防止  
本格運用

スタート

異常原因を未然に修復し  
分析を自動化し  
異常品(ムダ)をなくす

FY2017～  
STAGE2

異常の早期発見  
全面展開

展開中

異常を素早く発見  
稼動ロス(ムラ)をなくす  
センサーを設備につけて

ムリをなくす  
点検システム構築  
作業の見える化

FY2016～  
STAGE1

異常の見える化  
テスト運用

完了

ビッグデータを解析して  
データを整えて1カ所に格納  
課題を明確化

生産設備の見える化

人の見える化

FY2017の成果

- ・人のばらつき抑制
- ・異常の早期発見  
⇒歩留り・品質改善  
⇒生産性アップ

### 3. 設備投資

**投資規模を拡大**  
**3年間で1,000億円→1,500億円へ**

**2018年12月**

新潟太陽誘電 第3号棟完成予定  
(コンデンサ生産拠点)

**今後**

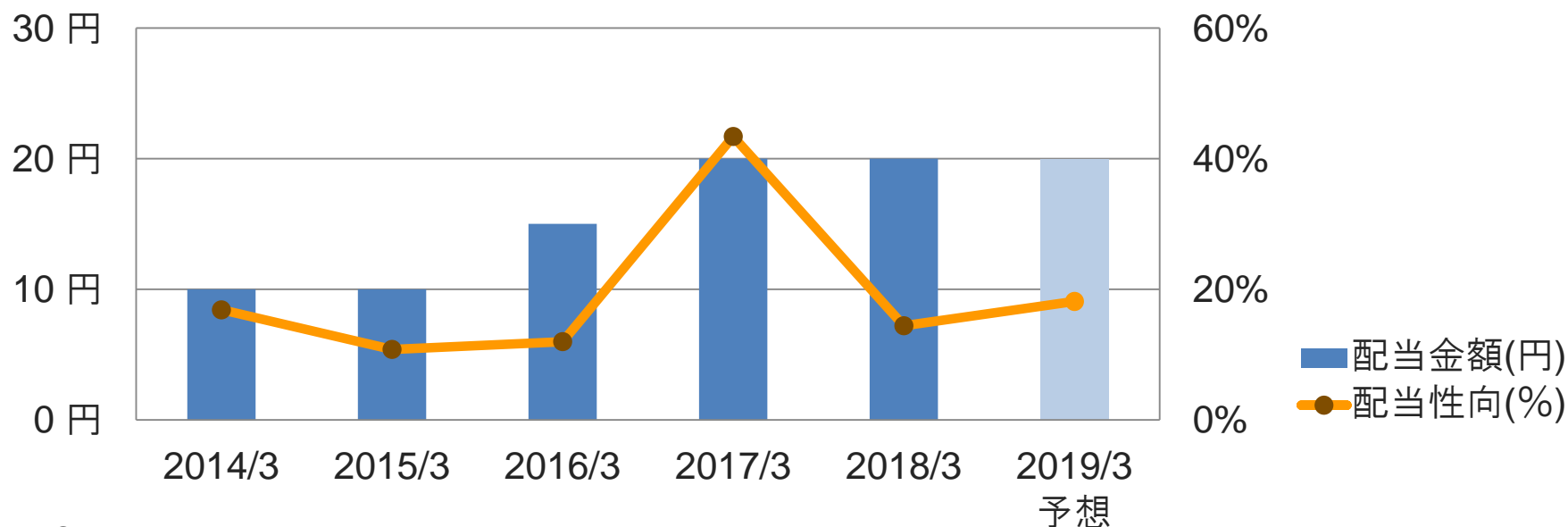
新棟建設を含む設備投資を加速  
電子部品の需要増に対応できる生産体制を構築

# 利益配分

将来の成長の  
ための投資

株主還元

- 3年間で約1,500億円規模の積極投資にシフト
- 新商品開発、新規事業開拓のための研究開発
- 中期目標として、安定的な総還元性向30%の実現を目指す



当資料に記載されている、当社（太陽誘電株式会社、および当社グループ）に関する計画、業績見通し、戦略、確信等のうち、将来の記述をはじめとする歴史的事実ではないものは、すべて現在、当社が入手している情報に基づいて行った予測、想定、認識等を基礎として記載しているものであり、その性質上、客観的に正確であるという保証、ならびに将来その通りに実現するという保証はありません。実際の業績は、数々の要素により、現状の見通し等とは大きく異なる結果となりえ、かつ、当社が事業活動の中心とするエレクトロニクス市場は変動性が激しいことから、当資料に全面的に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。

**TAIYO YUDEN**